



病院の理念 「患者本位の医療」 基本方針

患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
地域中核病院として、
高度な医療と救急医療の充実に努めます。
急性期病院として関係機関と連携し、
地域医療の充実に努めます。
地域がん診療連携拠点病院として、
機能の充実強化に努めます。
臨床研修指定病院として、
地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。

第2回

健康講座 四疾病シリーズ

がん

公立藤岡総合病院 副院長

石崎 政利

公立藤岡総合病院のがん診療について

「がん」は昭和 56 年から死因の第 1 位になり最近では総死亡の 3 割を占めるようになりました。今や国民の 3 人に 1 人が「がん」で亡くなる時代になりました。

このような事態を踏まえ国はがん死亡の減少とがん患者の生活の質の向上を目的に平成 19 年 4 月にがん対策基本法を制定し、どこでも標準的ながん医療が受けられるようにがん医療の均てん化を目標に、全国にがん診療連携拠点病院の整備をしてきました。地域がん診療連携拠点病院は地域で他の医療機関と連携しながら、専門的ながん医療を提供する地域の中核病院と位置付けられています。

当院は埼玉県北部を含む多野藤岡医療圏において専門的ながん医療を行っていると認定され、平成 19 年 1 月に地域がん診療連携拠点病院に指定されました。これはまさに、当院ががん診療の基本的な施策である専門的ながん医療の提供、療養生活の質の向上、がん予防と早期発見の推進をめざし地域で完結できるがん診療を実践していることが評価されたものです。

当院では外科（消化器、呼吸器、乳腺）、呼吸器内科、血液内科、消化器内科、泌尿器科、婦人科、放射線科などに専門資格を持ったがんの専門医が多数在籍し、いつでも専門的ながん医療を提供できるように体制を整えています。そして特に罹患人口の多い 5 大がん（胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がん）をはじめ、各種がんの専門医が手術、化学療法（外来化学療法含む）、放射線療法による集学的治療を行い、ガイドラインに基づいた標準的かつ個別化された専門的ながん医療を提供しております。また早期診断の推進のために、がん検診率の向上をめざして検診事業にも積極的にかかわっており、診断能力を高めるために高性能の診断機器を多数整備しております。

緩和ケア

すべてのがん患者及びその家族の不安や苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上を目標に、緩和ケア認定看護師を中心に緩和ケアチームを結成し活動しております。

緩和ケアチームは入院患者さんやご家族の皆様の体のつらさや心のつらさなどに対する支援を行っております。外来患者さんについては緩和ケア外来を設け外来センターでも緩和ケアが提供できるようになりました。

このように当院ではがんの早期発見から急性期医療（手術、化学療法、放射線療法）、慢性期医療、終末期医療まで専門的ながん医療を提供し、さらに地域で完結できるように、地域の医療機関と連携しながらがん診療に取り組んでいます。

相談・支援

今年 7 月から外来センターに「がんサロンなごみ」を開設いたしました。がんサロンはがん患者さんやご家族の皆様に情報交換の場として気軽に利用していただく場所です。患者会の交流の場としても利用できます。

がん診療についての疑問や不安についてはがん相談支援センターを設置して、皆様からの相談に応じております。がん相談支援センターでは、がんの相談をはじめセカンドオピニオン、がん情報の提供などを行っております。がん情報の提供の一環として随時多野藤岡がん市民講座を開催しております。

リンパ浮腫

公立藤岡総合病院附属外来センター 作業療法士 関根 圭介

どんな人がなりやすいの？

リンパ浮腫はがんの術後に発症することがほとんどです。多くみられるのは、乳がん、子宮がん、卵巣がん、前立腺がんの術後です。

リンパ浮腫の治療は？

リンパドレナージという溜まったリンパ液を流す方法があります。その他に、弾性ストッキングや腕や手を圧迫するスリーブにて圧を加える方法などがあります。疑われる場合はお早めに外科医師にご相談ください。

自分でできることは？

リンパ体操の一例(首、肩、腕、手、足を適度に動かすことはリンパの流れを促します。)



【体操や指導に対するお問い合わせは 外来センターリハビリ室 関根まで】

がんサロン なごみ 和



がんサロンとは

がん患者さんやご家族が集まり、がんの悩みや体験を語り合い交流できる場所です。
気軽にお立ち寄りください。

ご利用案内

患者さんやご家族同士の語らい
がん情報の収集
がんに対するさまざまな相談

—ご利用は無料です—

ご利用時間・場所

月曜日～金曜日(祭日を除く)10時～16時
公立藤岡総合病院附属外来センター1F がんサロン「和～なごみ～」

医師や看護師に相談がある時は、地域医療連携課スタッフにお声かけください。

お問い合わせ

公立藤岡総合病院附属外来センター
地域医療連携課
TEL0274-22-3311 内線4311

～緩和医療の充実を目指して～

公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 古池 きよみ



緩和ケアとは、病気の治療の全経過を通して現れる体のつらさや心のつらさを和らげ、患者様やご家族にとって可能な限り良好なQOL（Quality of Life＝人がより人間らしく生きていくこと）を実現させるための医療です。

そして、緩和ケアは単に症状のコントロールを目指すのではなく、患者様とご家族を全人的に捉えた、トータルな広がりをもつものです。

日本ではまだ誤解されることも多くありますが、「緩和ケア」＝「終末期医療」ではなく病状のどの時期においても行われる医療であり、近年、がん対策基本法が制定されたことにより早期からの緩和医療の実践を強化することが求められています。

当院においても、私たち緩和ケアチームは、一人一人の患者様が症状をコントロールしながら、ご自分の生活に合わせた治療を選択し、ご自身らしく生きるためのお手伝いをさせて頂いております。

今後も患者様・ご家族が安心して療養生活を送ることができるよう、緩和医療の充実を目指して頑張っていきたいと思っております。



緩和ケア外来とは

緩和ケア外来

開設のお知らせ

公立藤岡総合病院では「地域がん診療連携拠点病院」として、手術、抗がん剤治療、放射線治療など高度な治療に取り組んでいます。

また同時に、がん診療に伴う様々な苦痛を緩和する支援を積極的におこなっています。

緩和ケア外来では、がんと診断された患者さんの治療に伴う苦痛やがんに伴う苦痛を和らげるお手伝いをします。

診療内容

がんなどの痛みや身体・気持のつらさの緩和を必要とする方の相談を受け付けます。

担当医やかかりつけ医と連携し、サポートします。

薬剤師、栄養士、作業療法士、ソーシャルワーカー、訪問看護師など緩和ケアチームでサポートします。

外来診察日（完全予約制）

公立藤岡総合病院附属外来センター
内科外来

毎週水曜日15時～16時30分

緩和ケア担当医師 柳澤 孝之

ご予約は

公立藤岡総合病院附属外来センター
地域医療連携課

0274-22-3311（内線）4311

